

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	食育計画推進事業			
■事業開始年度	平成23年度			
■評価事業コード	040200 - 102	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	食育基本法、食育推進基本計画			
■関連計画の名称	北上市食育推進計画			
■事業の目的と概要	「食」を通して家庭で施されるべき教育、食事を通じて健康、家庭教育、しつけ教育等が見直される。家庭、幼稚園、保育所、学校、地域、生産者・事業者、行政が一体となって取り組む。北上市食育推進協議会にて、食育計画の助言や施策の進捗状況を審議する。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	食育計画推進事業	一般	食育推進協議会2回開催。食育の進捗状況を報告し、第2回簡単朝食レシピコンテストの開催やホームページの整備など行い、食育を推進する。	食育推進協議会2回開催。食育の進捗状況を報告した他、来年度の事業計画を協議した。また、第2回簡単朝食レシピコンテストを実施する等して食育推進を図った。

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費		190	62	122	
人件費		2,403	1,526	1,921	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		2,593	1,588	2,043	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	出席率	—	91.4%	83.3%	91.7%	出席者÷委員数(12人)
02	出席者数	未開催	のべ32人	10人	のべ22人	委員数12人
03	回数	—	3回(第2次計画策定年度のため)	1回	2回	年1回開催

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

協議会を年2回開催し、取り組み事業について意見を伺った後、取り組み状況について実施報告することができた。また、第2回目の朝食レシピコンテストを開催し、昨年度課題となった開催時期と表彰場所を改善することができた。

### 問題点・課題等

朝食欠食が課題となっている20～30代への介入方法を検討すること。また、社会人になる手前の高校生の時期に、好ましい食生活を実践できるように支援方法を検討すること。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

朝食欠食が課題となっている20～30代への介入方法、高校生を対象に好ましい食生活を実践できるように支援方法の検討が必要。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了